

大会要項

v3.0 2026/8/12

1. 大会名称

エイワ杯 2026年度関東大学アイスホッケーリーグ戦

2. 主 催

公益財団法人東京都アイスホッケー連盟

3. 後 援

公益財団法人日本アイスホッケー連盟 毎日新聞社

茨城県アイスホッケー連盟 神奈川県アイスホッケー連盟 埼玉県アイスホッケー連盟

千葉県アイスホッケー連盟 栃木県アイスホッケー連盟 山梨県アイスホッケー連盟

4. 特別協賛

株式会社エイワ

5. 期 間

2026年9月5日(土)～12月20日(日)

6. 会 場

ダイナードリンコアイスアリーナ 〒202-0021 東京都西東京市東伏見3丁目1-25

7. 大会事務局

公益財団法人東京都アイスホッケー連盟

〒202-0021 東京都西東京市東伏見3丁目1-25

TEL:042-467-8282 FAX:042-468-2131 E-mail: univ@tihf.gr.jp (大学専用)

8. 参加資格および登録

- * 選手および役員は、**2026年8月6日(木)までに日本アイスホッケー連盟FaceOffシステム会員登録完了済み(登録料支払い完了を含む)**であること。
- * 選手は、大学の在学証明を受けた者のみベンチ入りできる。休学中の試合出場は認めない。
ただし、学生マネージャー・スタッフは、この限りではない。
- * 選手・役員の追加登録
大会期間中、随時受け付ける。ただし、試合前日までに大会申込の登録が完了していない場合には、ベンチ入りできない。
- * **追加登録の際は、都度、追加登録者の参加申込書を提出する。**
- * 選手登録人数がスケーター5名とゴールキーパー1名に満たないチームは、今大会に限り参加資格を失う。
- * 女子および大学院生は、試合への参加資格を持たない。

9. 参加チームおよびグループ分け

[2026年関東大学アイスホッケーランキング](別ページ参照)により、下記の通り、Divisionを分ける。

Division IA	1位から8位	8 チーム
Division IB	9位から14位	6 チーム
Division II	15位から20位	6 チーム
Division III	21位から26位	6 チーム
Division IV	27位から32位	6 チーム
Division V	33位以下	9 チーム

ただし、大会参加大学数によりグループ内チーム数変動することがある。

10. 大会参加申込み(大会メンバー登録)

日本アイスホッケー連盟FaceOff大会申込システムを使用した申し込みとする。

注) 選手・役員は、FaceOffシステム会員登録が完了していないと、大会申込みに登録できない。

申込期限 **2026年8月6日(木)**

※申込方法の詳細は別途通知する。

11. 大会費

- * 大会参加費 全チーム 50,000円
- * 試合費 試合数に応じて、以下の通り負担する。
 - Division IA・IB 20分ピリオド 70,000円 × 試合数
 - Division II～V 15分ピリオド 60,000円 × 試合数
- * 振込期限 大会参加費 **2026年8月13日(木)まで**
試合費 **各チーム最終試合の前日まで**
- * 振込口座
東京三協信用金庫 東伏見支店 (店番号016)
公益財団法人東京都アイスホッケー連盟
普通預金
口座番号 100388
※必ず大学名(登録チーム名)で振り込むこと。

12. キャンセル規定

- * 参加申込後に辞退した場合でも、大会参加費および試合費は支払わなければならない。
- * いかなる理由でも大会参加費の返金を行わない。
- * 原則、リンク枠のキャンセルは行わない。
- * 試合をチーム事情により棄権した場合、当該対戦チーム分の試合費を負担する。
この際、対戦予定チームは、試合時間を利用して練習または練習試合を行うことができる。

13. 保険の加入

大会参加チームは傷害保険に加入し、保険証券または保険申込者(被保険者)がわかる明細のコピーを連盟事務局に提出する。

- * 提出期限 **2026年9月4日(金)**

14. 表彰

チーム表彰 すべてのDivisionの1位～3位チームを表彰する。

個人表彰 すべてのDivisionより、最優秀選手賞1名、最多ポイント賞を選出し、表彰する。
Division Iより、ベスト6を選出し、表彰する。

Division IA上位2チームは、「第94回全日本アイスホッケー選手権大会(A)」への出場権を得る。
ただし、(公財)日本アイスホッケー連盟により、関東大学アイスホッケーリーグ戦に与えられる出場枠数が変更された場合、この限りではない。

15. 表彰式

Division IAのみ表彰式を行う。(Division II以下は、順位が確定した段階で試合後に行う場合がある)
表彰式には、1位～3位の表彰チームおよび個人表彰対象の選手は、全員参加すること。
スケート、ユニフォーム、部旗を持参すること。

16. 入場料

一般 1,000円 高校生・中学生・小学生 500円

※ 入場口にて当日券のみ販売。

17. 試合映像撮影・配信

- * 本大会では、試合の映像撮影およびその映像配信を行うことがある。
本大会に参加する全ての選手、スタッフ、競技役員等は、本大会参加中の肖像の管理を（公財）東京都アイスホッケー連盟に委ねることを本大会参加をもって承諾したこととする。
- * AIカメラ（（公財）日本アイスホッケー連盟）による動画配信について：
本大会における試合のテレビ・ラジオ放送権、インターネットその他一切の公衆送信を行う権利（公衆送信権）は、（公財）日本アイスホッケー連盟に帰属することとし、公衆送信権を（公財）東京都アイスホッケー連盟に許諾することがある。

18. IDカードについて

- * **大会期間中、選手・スタッフ・関係者すべての施設内入場は、IDを所持している者のみとする。**
IDは常に見えるように首からかけること。
IDカードの第三者への譲渡、貸与、複製を固く禁じる。譲渡、貸与、複製、その他不正使用した場合、IDカードの剥奪および別途処分を科す。

19. その他

- * リンク事情などにより日程変更・対戦方式の変更、特別な条項追加の可能性があることをご承知おきください。

競技要項

v3.0 2026/8/12

1. 競技方法

【ディビジョン共通】

- * [対戦方式](別ページ参照)によるリーグ戦およびトーナメント戦(Division V)を行う。
- * ホーム・ビジター制:
 - ・ 全試合において適用する。
 - ・ ホームチームは、試合開始前のパックスにより決定する。仮ホームチームがパックスの表裏を選択する。
 - ・ 対戦表の左側を仮ホームチームとし、本部席から向かって左側のベンチに入る。
- * タイムアウト(30 秒)は、すべての試合において、各チーム 1 回使用できる。

2. 競技時間

- * 練習終了後、整氷を行う。
- * 練習および試合は、前の試合が終わり次第、順次時間を繰り上げて開始する(最大20分)

【Division IA/IB】 練習 7分 正味 20分 × 3ピリオド ピリオド間インターバル 約12分(整氷)

【Division II～Vおよび入替戦】

練習 7分 正味 15分 × 3ピリオド 1P-2P間インターバル 5分
2P-3P間 約12分(整氷)

【Division IB下位2チームとDivision II上位2チームによるファイナルリーグ】

練習 7分 正味 20分 × 3ピリオド ピリオド間インターバル 約12分(整氷)

【ランニングタイム:ディビジョン共通】

- * 各試合で、7点以上の得点差がついた時点で、次のフェイスオフ以降はランニングタイムとする。

- ① 点差が縮まった場合でもランニングタイムは継続する。
- ② 次の場合は時計を一旦止める(次のフェイスオフでパックスがドロップされた後スタートする)。
 - a) 得点時
 - b) ペナルティ発生時
 - c) タイムアウト
 - d) オンアイスレフェリー以外の判断で時計を止める場合がある
 - e) 第3ピリオド終了残り2分以降

- ③ ペナルティ時間終了時にプレーが止まっていた場合、ペナルティボックス内の選手は次のフェイスオフでパックスがドロップされるまでペナルティボックス内から出てはならない。

【同点の場合:ディビジョン共通】

- ・ 第3ピリオド終了時、同点の場合、両チーム5名ずつのペナルティ・ショット・シュートアウト(以下PSS)により勝敗を決定する。このとき、各チームのゴールキーパーは第3ピリオドと同じサイドを守る。
相手チームのショットの際、ゴールキーパーはベンチに戻らず、クリーズ内に待機すること。
ただし、レフェリーが氷面を確認し、両サイドを利用することがどちらかのチームに不利になると判断した場合には、レフェリーが使用するサイドを決定する。
- ・ さらに同点の場合はサドンデス方式による両チーム1名ずつのPSSにより勝敗を決定する。
- * PSSの先攻・後攻の選択権は、パックスにおいて決定する。
- * ファイナルリーグ
 - ・ 第3ピリオド終了時、同点の場合は、3分間のインターバル後、サドンデス方式による3対3の正味5分間の延長ピリオドを行う。
 - ・ なおかつ同点の場合は、両チーム5名ずつのPSSにより勝敗を決定する。
 - ・ さらに同点の場合はサドンデス方式による両チーム1名ずつのPSSにより勝敗を決定する。

3. 順位決定方法

勝ち点を以下の通りとする。

	レギュレーション タイム勝ち	延長・PSS 勝ち	延長・PSS 負け	レギュレーション タイム負け
勝ち点	3	2	1	0

順位決定は以下の通りとする。

*** Division IのファーストリーグおよびDivision II以下**

- ① 勝ち点の大なるもの
- ② 当該校の対戦成績の勝ち点の大なるもの
- ③ 当該校同士の試合の得失点差の大なるもの
- ④ 当該校同士の試合の得点の大なるもの
- ⑤ 全試合の得失点差の大なるもの
- ⑥ 全試合の得点の大なるもの
- ⑦ 前年度ランキング上位のもの

*** Division IAのセカンドリーグ（ファーストリーグは含まない）**

- ① 勝ち点の大なるもの
- ② 当該校の対戦成績の勝ち点の大なるもの
- ③ 当該校同士の試合の得失点差の大なるもの
- ④ 当該校同士の試合の得点の大なるもの
- ⑤ 全試合の得失点差の大なるもの
- ⑥ 全試合の得点の大なるもの
- ⑦ ファーストリーグ上位のもの

*** Division IBのセカンドリーグ（ファーストリーグは含まない）**

- ① 勝ち点の大なるもの
- ② 当該校の対戦成績の勝ち点の大なるもの
- ③ 当該校同士の試合の得失点差の大なるもの
- ④ 当該校同士の試合の得点の大なるもの
- ⑤ 全試合の得失点差の大なるもの
- ⑥ 全試合の得点の大なるもの
- ⑦ 前年度ランキング上位のもの

*** ファイナルリーグ（セカンドリーグを含む）**

- ① 勝ち点の大なるもの
- ② 当該校の対戦成績の勝ち点の大なるもの
- ③ 当該校同士の試合の得失点差の大なるもの
- ④ 当該校同士の試合の得点の大なるもの
- ⑤ 全試合の得失点差の大なるもの
- ⑥ 全試合の得点の大なるもの
- ⑦ ファイナルリーグのみの①～⑥
- ⑧ 前年度ランキング上位のもの

4. 競技規則

（公財）東京都アイスホッケー連盟の定めるローカルルールを除いては、原則として、国際アイスホッケー連盟の定めるアイスホッケー公式国際競技規則、ならびに（公財）日本アイスホッケー連盟の定めるルールによるものとする。

5. 補助規則(東京都アイスホッケー連盟が定めるローカルルール)

- 1) 連盟未登録選手が出場した場合、その試合に限り没収試合とし、不戦敗(スコアは0対15)とする。
- 2) オールメンバー表に記載されていない選手は試合に出場できない。
オールメンバー表に記載されていないスタッフはベンチ入りできない。
- 3) 全選手はフルフェイス・マスクの付いたヘルメットを着用しなければならない。ヘルメットには、
イヤガードが適切に装着されていなければならない。顎紐と顎の間のゆとりは指1本分のみとする。
プレーヤーは試合前の練習中、ベンチ内、ペナルティボックス内にいるときも、ヘルメットを正しく
着用していなければならない。
- 4) 全選手(GK含む)は、ネックガードを着用しなければならない。
- 5) プレーヤーはマウスガードを着用しなければならない(違反はマイナーペナルティ)。
- 6) チームのすべての選手は、同じユニフォーム、パンツ、ストッキング、ヘルメットを着用しなければならない。
- 7) 危険な用具を着用している選手は試合に出場できない。試合前の整列時にレフェリーが両チームの
選手の用具着用状態を確認する。試合中、正しく防具を着用していないプレーヤーに対しては、
警告なしにミスコンダクト→マイナー・ペナルティを科す。
「お守り」は防具の内側に縫い付ける。それ以外のアクセサリ等の着用は認めない。
なお、これは相手チームからのアピールでは受け付けず、レフェリーの判断によるものとする。
- 8) グローブ、ヘルメット以外の用具は完全にユニホームの下に着用し、ユニフォームはパンツから必ず出す。
ユニフォームとパンツは、タイダウンストラップで密着させなければならない。ユニフォームがめくれて
いる選手への注意は、1回目はチームに対して行う。2回目の注意から、マイナーペナルティを科す。
試合中、ベンチから氷上に出る際、ユニフォームがパンツから出ているか、選手スタッフ間で確認する。
- 9) ストッキングを留めるテープは、透明のテープを使用することが望ましい。
ストッキングと異なる色のテープの使用、および、ストッキングのデザインを変える巻き方は認められない。
色をまたいでテープを巻く場合(クロスさせる等)は、透明のテープのみ使用できる。
バルクロタイプのバンドも同様とする。
- 10) 練習中、ゲーム・スーパーバイザー(GSV)がヘルメットやストッキング等の防具を正しく着用しているか
確認し、是正させることがある。著しく汚れたり破れたりしているパンツの着用は試合出場を認めない。
- 11) ベンチ入り選手は、最低 6名(スケーター5 名とゴールキーパー1名)、22名以内(ゴールキーパーは
2名以内)とする。試合開始時に、この最低人数を氷上に送り出さなければならない。本規定人数を
氷上に揃えることができなくなった時点で没収試合とし、0 対 15 で当該チームの敗戦とする。
日本国籍を持たない選手の参加は、1 チーム3 名までとする。
- 12) ベンチ入り役員(監督、コーチ等)は6名以内とし、最低1名は必ずベンチに入らなければならない。
役員不在のチームは没収試合とし、0対15で当該チームの敗戦とする。
役員はIDを着用しなければ、ベンチ入りできない。
役員とは「大会要項 8」のチーム役員登録された者を指す。学生は役員として登録することはできない。
- 13) オールメンバー表、オフィシャル担当表は当連盟所定の用紙に記載し、試合(オフィシャル当番)の
当日、入場時(練習開始1時間前)に提出する。
- 14) 仮ホームチームはユニフォームの色を選択できる。ただし、対戦する両チームのユニフォームが
同系色の場合は、原則、仮ホームチームがユニフォームを変えなければならない。
基本は、仮ホームが色系、ビジターが白系を着用する。チーム間の協議が整えばこの限りではないが、
必ず事前にレフェリーおよびGSVの許可を得る。

- 15) 練習後、ピリオド終了時、試合終了後など、両チームが同一通路を使用して控室に戻る場合、両チームが同時に移動しないよう、出入口に近いベンチのチームから先に速やかに氷上より退場する。なお、後のチーム(氷上にいる選手)は、一度自チームのベンチに戻り、レフェリーの指示により退場する。先のチームが故意に退場を遅らせたり、後のチームが故意に自チームベンチに戻らない場合は、ベンチ・マイナー・ペナルティ を科す。
- 氷上の移動は、全てヘルメットを着用する(原則としてグローブとスティックも所持する)。
- 16) ベンチドアマンの取り扱い
- ① 当日の試合に出場しないが選手登録されている学生2名以内をベンチドアマンとして置くことができる。この場合、オールメンバー表のスタッフ欄に記載する。ただし、役員6名には含まれない。
 - ② ベンチドアマンは、危険防止のためフルフェイスマスクの付いたヘルメットの着用を義務付ける。試合前の整列時に、レフェリーがベンチドアマンの用具着用状態を確認し、正しく装備していない場合、その試合のベンチ入りを認めない。この場合、ペナルティ(ベンチ・マイナー)は科せられない。
- 17) ベンチ内での写真・動画撮影は禁止する。コーチングの目的にのみ、電子機器の使用を認める。
- 18) ベンチ入りする学生スタッフ(マネージャー、トレーナー等)は危険防止のため、フルフェイスマスクの付いたヘルメットの着用を義務付ける。レフェリーが規定に違反している学生を発見した場合、該当者をベンチから退場させる。ただし、ペナルティ(ベンチ・マイナー)は科せられない。ベンチに入るスタッフ・トレーナー・マネージャー等は、ユニフォームを着用してはならない。
- 19) 第2ピリオド、第3ピリオド開始時は、ファーストセットのみ氷上に上がる。ただし、リンクコンディションにより、レフェリーの指示でベンチ内で待機する場合がある。
- 20) 申請した登録と試合当日の背番号に変更がある際は、オールメンバー表提出時、競技役員(大会運営委員長、GSV、スコアラー等)に報告する。原則として、ホームユニフォームとビジターユニフォームで異なる背番号は認めない。
- 21) 背中のネームは、「自分の姓」をつけなければならない。ユニフォームの名前を隠す際は、同系色の布を縫い付ける(テープ使用は不可)。
- 22) ゴールの確認についてのみチーム側からチャレンジすることができる。別途、定める「コーチチャレンジ」「VSSローカルルール」を適用する。
- ・ コーチチャレンジ <https://tihf.jp/doc?did=164854365215687200>
 - ・ VSSローカルルール <https://tihf.jp/doc?did=171620252896479300>

6. 試合中の傷病

- * 試合中に傷病が発生した場合、応急処置は行うが、その後は各チームの責任で対応すること。
- * 試合中に負傷等が発生した場合、当連盟所定の傷病報告書フォームに記載し、事務局宛てにメール送信する。
 - ・ 傷病報告書 <https://tihf.jp/doc?did=163652573700698700>

注意事項

- * 事前の連絡なく、代表者会議、オフィシャルクリニック、表彰式、試合、オフィシャル当番を遅刻、欠席、棄権した場合、また連盟の規約に違反した場合、JIHFリスペクト憲章に反する行為を行った場合は、学生事業委員会と審議委員会にて協議し、処分を科す。
- * 試合前練習の際、終了ブザー後にシュートを打った選手は、その試合の出場資格を失う。
- * ペナルティベンチ内では、ペナルティ終了30秒前まで座っていなければならない。味方への応援を含む一切の私語を禁止する。本条項については、レフェリー以外が別途処分を科すことがある。
- * 試合時のツバ吐き行為は、いかなる理由があってもゲーム・ミスコンダクト・ペナルティ を科す。いったん口に入れた水等を吐き出す行為もツバを吐く行為と同様にみなす。

- * 控室のシャワーの利用を禁止する。
- * 試合終了後30分以内に退場する。

<緊急連絡先>

第1連絡先	大会運営委員長(学生事業委員長)	横川 将也
第2連絡先	大会運営副委員長(学生事業副委員長)	内山 邦也